



日本のまんなか  
水と緑といで湯の街渋川市

## 令和4年6月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和4年6月6日(月)  
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 令和4年度 一般会計補正予算（第2号・コロナ関連、第3号）案のフレーム（資料1）
- 2 食材費高騰の影響を受ける市内高齢者介護・福祉施設等への支援を行います（資料2）
- 3 3つの市有施設のネーミングライツパートナーを募集します（資料3）
- 4 土砂災害危険箇所の一斉点検を実施します（資料4）
- 5 しぶかわ創作こけし展～しぶかわ普通じゃないこけし展～を開催します（資料5）
- 6 ふるさと再発見 渋川の偉人展第10回目として「渋川郷学 高橋蘭斎顕彰展」を開催します（資料6）

○次回開催予定

日時：令和4年6月10日(金)午後1時～

場所：本庁舎記者会見室

## 市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
6月6日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
6月7日(火)	10:00	議会運営委員会	第1委員会室	議会事務局
	13:00	渋川測量設計協会への要望の回答	市長応接室	秘書室
6月8日(水)	8:45	渋川中学校第76回体育大会	渋川中学校校庭	学校教育課
	13:00	広域組合監査委員辞令交付式	市長応接室	広域組合
6月9日(木)	10:00	6月市議会定例会：開会、議案上程	議場	議会事務局
	12:10	高橋蘭斎顕彰展開催セレモニー	市民ホール	生涯学習課
6月10日(金)	10:00	6月市議会定例会：議案上程	議場	議会事務局
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	16:00	広域組合7月補正予算説明	記者会見室	広域組合
	17:30	関東商工会議所連合会第65回総会懇親会	ホテル木暮	商工振興課
6月11日(土)				
6月12日(日)	18:00	世界華人工商婦会企管協会日本分会との日台交流懇親会	如心の里 ひびき野	観光課
	19:00	石原西ほたるの里つくりの会ほたる観賞会	石原西前堤下	環境森林課
6月13日(月)	9:20	コスモス保育園子どもたちの未来の森づくり事業(苗木の植樹のつどい)	コスモス保育園園舎西側	こども課
	10:00	6月市議会定例会：一般質問	議場	議会事務局



# 資料1

発表：総務部 部長 星野 幸也（財務課） 電話0279-22-2414 内線2100

## 令和4年度 一般会計補正予算（第2号・コロナ関連）案の フレーム

(千円)

歳 出	歳 入
<p><b>I 原油価格・物価高騰総合緊急対策</b></p> <p><b>1【新】物価高騰の影響を受ける市民及び 市内事業者を支援 249,183</b></p> <p>市民生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、市内の小売店、飲食店、宿泊施設等で利用できる割引券を全世帯に配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布額 1世帯当たり5,000円</li> <li>※世帯主を除く世帯員1人につき2,000円を追加</li> <li>・利用期間 令和4年9月1日～令和4年11月30日</li> </ul> <p><b>2【新】小規模事業者の事業継続・強化に向けた 独自の取り組みを応援 32,000</b></p> <p>(1)事業継続PR型 補助率2/3（上限20万円）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①PRチラシ等による宣伝広告</li> <li>②インターネットを活用した宣伝広告</li> <li>③クーポン券等の発行</li> <li>④看板のリニューアル、のぼり旗・垂れ幕の作成</li> </ol> <p>(2)設備導入支援型 補助率2/3（上限30万円）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①集客及び感染症対策のための設備導入</li> <li>②キャッシュレス化のための設備導入</li> <li>③インターネットを活用した販路拡大</li> <li>④インバウンドに対応するための設備導入</li> </ol> <p><b>3【新】公共交通を利用した市内観光を促進 50,221</b></p> <p>物価高騰の影響を受ける観光及び交通事業者を支援するとともに、自家用車を使わない「エコ旅」を促進するため、県外から鉄道又は高速バスを利用して本市を訪れ、市内宿泊施設に宿泊した場合に、「渋川市ふるさと感謝券」を配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布額 1人につき3,000円</li> <li>・実施期間</li> <li style="padding-left: 20px;">（第1弾）令和4年9月1日～令和4年9月30日</li> <li style="padding-left: 20px;">（第2弾）令和5年1月10日～令和5年2月22日</li> </ul> <p><b>4【新】介護施設等の食材高騰対策を応援 15,419</b></p> <p>介護施設等で提供される食事の質や栄養の低下を防ぎ、利用者が健康で安心な生活を送れるよう、食材高騰分を補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助額 入所者1人当たり6千円</li> <li style="padding-left: 20px;">通所者1人当たり2千円</li> </ul>	<p><b>1 国庫支出金 438,923</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金</p> <p><b>2 県支出金 36,789</b></p> <p>地域観光事業支援補助金</p>

<b>II 新型コロナウイルス生活経済安定対策</b> <b>1【新】売上げが減少した中小企業者及び</b> <b>個人事業主の経営を支援 55,000</b> コロナの影響で売上げが減少した事業者の経営を支援するため、国から「事業復活支援金」を受給した事業者に対し、給付額の10%を上乗せで給付	
<b>2【新】生活困窮世帯の就労による自立を応援</b> <b>2,000</b> 就労により「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の支給が終了となる世帯に対し、自立促進及び生活基盤の確立を図るため、就労自立支援金を支給 ・支給額 10万円	
<b>3【新】高齢者世帯のエアコン設置を支援 27,000</b> コロナ禍における高齢者の熱中症予防のため、75歳以上の高齢者のみの市民税非課税世帯におけるエアコン設置費用を補助 ・補助額 設置費用の1/2（上限5万円） ※市内中小事業者での設置は2万円を加算	
<b>4【新】保育施設等が臨時休園した場合における</b> <b>園児の臨時預かり体制を整備 3,300</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休園を余儀なくされた保育施設等に通う園児の最終的な受け皿として、一時預かりを実施するための体制を整備	
<b>5 「しづかわ観光応援キャンペーン」の期間延長</b> <b>36,789</b> 県が実施する、「愛郷ぐんまプロジェクト第5弾」の期間延長に合わせ、「しづかわ観光応援キャンペーン」の期間を延長するための予算を増額 ・延長期間 令和4年6月1日～令和4年6月30日	
<b>6 傷病見舞金の支給を継続 4,800</b> 新型コロナウイルス感染症に感染した個人事業主への傷病見舞金について、支給対象期間を延長（国民健康保険特別会計への繰出） ・支給対象期間 令和4年6月30日→令和4年9月30日	
475,712	475,712

※計数整理により金額が変動する可能性があります。

補正前予算額 33,265,603千円



補正後予算額 33,741,315千円



# 令和4年度 一般会計補正予算（第3号）案のフレーム

(千円)

歳 出	歳 入
<b>1 【新】若年がん患者の在宅療養を支援</b> <span style="float: right;"><b>1,548</b></span> 公的支援の適用を受けられない40歳未満のがん患者の在宅療養に係る費用の一部を補助（県1/2、市1/2）	<b>1 県支出金</b> <span style="float: right;"><b>1,774</b></span> (1)若年がん患者在宅療養支援事業費補助金 774 (2)持続的なこんにやく生産を支える総合対策事業補助金 1,000
<b>2 【新】HPVワクチンの任意接種費用を遡って助成</b> <span style="float: right;"><b>4,325</b></span> 子宮頸がん予防に効果のあるヒトパピローマウイルス様粒子（HPV）ワクチンの積極的勧奨の差控えにより、定期接種の機会を逃し、任意接種を自費で受けた人に対し、接種費用を助成	<b>2 寄附金</b> <span style="float: right;"><b>1,661</b></span> ふるさと応援寄附金
<b>3 美術館を市役所第二庁舎に整備</b> <span style="float: right;"><b>79,871</b></span> 第二庁舎の一部を新たな美術館として使用するための改修工事を実施	<b>3 繰入金</b> <span style="float: right;"><b>120,317</b></span> (1)財政調整基金繰入金 115,678 (2)ふるさと創生基金繰入金 2,410 (3)小野上地区農業用水等渇水対策施設維持管理基金繰入金 2,229
<b>4 その他</b> <span style="float: right;"><b>121,883</b></span> (1)宝くじを財源とした自治会支援 8,075 (2)コロナ禍で十分に活動ができなかった地域おこし協力隊員の活動期間を延長 3,399 (3)農家の機械導入経費を補助 1,000 (4)市52施設で臨時電力への切替え 105,113 (5)和解金の支払い 1,000 (6)過年度分の国庫補助金の精算 3,296	<b>4 諸収入</b> <span style="float: right;"><b>8,075</b></span> (1)一般コミュニティ助成事業助成金 2,200 (2)魅力あるコミュニティ助成事業助成金 5,875
	<b>5 市債</b> <span style="float: right;"><b>75,800</b></span> 美術館移転事業債(合併特例事業)
<b>207,627</b>	<b>207,627</b>

※計数整理により金額が変動する可能性があります。

補正前予算額 33,741,315千円



補正後予算額 33,948,942千円

## ■問い合わせ先

総務部財務課（電話0279-22-2414）

課長 鴻田 吉史（内線2150）

財政係長 荒井 啓充（内線2149）





# 資料2

発表：スポーツ健康部 部長 角田 義孝（介護保険課） 電話0279-22-2116 内線1150

## 食材費高騰の影響を受ける 市内高齢者介護・福祉施設等への支援を行います

渋川市は、市内に所在する高齢者介護・福祉施設等に対し、食材費の高騰に対する支援を行います。施設内で提供する食事の質を維持することで、利用者が健康で安心して暮らせるようにするものです。

### 1 目 的

食材費の高騰を受け、高齢者介護・福祉施設等においては、高騰分を利用者の食事代に転嫁させたいところですが、景気が停滞する中、利用者負担を考慮して食事代の値上げに踏み切れていないことが想定されます。そのため、食品数量等の調整による食事の質の低下が懸念されます。

そこで、市内に所在する高齢者介護・福祉施設等に対し、食材費の高騰に対する支援を行い、施設内で提供する食事の質を維持することで、利用者が健康で安心して暮らせるよう支援するものです。

### 2 概 要

令和4年6月1日現在において、渋川市内に所在し、利用者に食事を提供している次の事業所・施設等に対して、事業所種別に応じ、利用者（※注2）1人当たり6,000円又は2,000円（※注1）の補助金を支給します（支給は1事業所1回限り）。

	事業所種別	1人当たり補助金額
入所・入居系事業所	①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） ②介護老人保健施設（老人保健施設） ③短期入所生活介護（特別養護老人ホームのショートステイ） ④短期入所療養介護（老人保健施設のショートステイ） ⑤養護老人ホーム ⑥軽費老人ホーム（ケアハウス） ⑦有料老人ホーム ⑧サービス付き高齢者向け住宅 ⑨認知症対応型共同生活介護（グループホーム） ⑩小規模多機能型居宅介護（宿泊）	6,000円
通所系事業所	⑪通所介護（デイサービス） ⑫通所リハビリテーション ⑬地域密着型通所介護（地域密着型デイサービス） ⑭認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス） ⑮小規模多機能型居宅介護（通い）	2,000円

※注1）1人当たり補助金額について

補助金額の算出に当たっては、①厚生労働大臣が定める介護保険施設等における平均的な1日当たり食事提供費用、②令和2年度介護事業経営実態調査における食費のうち「食材料費等」の割合、③直近の消費者物価指数における「食料」指数の動向などを勘案し、入所・入居系事業所（1日3食提供を想定）は6,000円、通所系事業所（1日1食提供を想定）は2,000円の補助金額とします。

※注2) 利用者数の算出方法について

(入所・入居系事業所)

令和4年6月における当該事業所の1日当たり平均利用者数(入院等により当該事業所を利用していない者は除く。小数点以下切上げ)。ただし、短期入所生活介護及び短期入所療養介護は、空床利用は除き、小規模多機能型居宅介護は、宿泊利用者数とします。

(通所系事業所)

令和4年6月における当該事業所の1日当たり平均利用者数(小規模多機能型居宅介護は通い利用者数(同一日に宿泊を伴う者は除く)。小数点以下切上げ)。ただし、同一法人が運営する市内の他の補助対象事業所の入所・入居・宿泊者が利用している場合は、利用者数に算入しないものとします。

### 3 申請手続

(1) 申請期間 令和4年7月15日(金)～8月15日(月)

(2) 申請書類

ア 交付申請書兼請求書

イ 令和4年6月分利用者実績一覧表

ウ 利用者から徴収する食事代の金額が分かる資料(施設利用案内パンフレット等)

(3) 申請先

ア 上記2の⑤養護老人ホーム、⑥軽費老人ホーム、⑦有料老人ホーム、⑧サービス付き高齢者向け住宅を運営する事業者：福祉部高齢者安心課

イ 上記ア以外：スポーツ健康部介護保険課

### 4 支給時期

令和4年9月中旬ごろに申請者指定の金融機関口座へ振り込む予定です。

### 5 補助対象事業所数(定員数)【見込み】

(1) 入所・入居系事業所 63事業所(定員2,034人)

(2) 通所系事業所 60事業所(定員1,581人)

合計 123事業所(定員3,615人)

### 6 予算額(合計1,541万9,000円)

(1) 補助金：1,536万6,000円

(内訳) 入所・入居系事業所分 2,034人×6,000円=1,220万4,000円

通所系事業所分 1,581人×2,000円=316万2,000円

(2) 郵便料：5万3,000円

※令和4年度一般会計補正予算(第2号)案に計上しています。

### 7 周知方法

補助対象となる事業者への事業案内通知などにより周知します。

### 8 その他

食材費の高騰に伴う介護・福祉施設等への補助金交付は、県内12市では初めてとなります。

#### ■問い合わせ先

スポーツ健康部介護保険課(電話0279-22-2116)

課長 小渕 正子(内線1230)

介護給付係長 柴崎 智広(内線1250)



## 資料3

発表：スポーツ健康部 部長 角田 義孝（スポーツ課） 電話0279-22-2241 内線1150

### 3つの市有施設のネーミングライツパートナーを募集します

渋川市は、市の新たな財源確保による地域経済の活性化及び市民サービスの継続的な実施を目的として、令和4年6月21日(火)から渋川市武道館、渋川市子持社会体育館及び渋川市赤城総合運動自然公園のネーミングライツパートナーを募集します。

#### 1 目的

企業などへの広告の機会を拡大するとともに、市の新たな財源を確保することにより、地域経済の活性化及び市民サービスの継続的な実施を目的として、渋川市武道館、渋川市子持社会体育館及び渋川市赤城総合運動自然公園のネーミングライツパートナーを募集するものです。

#### 2 対象施設

- (1) 渋川市武道館（渋川市中村830-6）
- (2) 渋川市子持社会体育館（渋川市吹屋658-10）
- (3) 渋川市赤城総合運動自然公園（渋川市赤城町北上野444）

#### 3 応募資格 企業、個人の事業者、商店街等の連合体及び公共的団体など

#### 4 希望契約期間 令和5年1月1日～令和8年3月31日 ※ただし、3年以上の期間とし、最長で令和8年3月31日までの3年3カ月間とします。

#### 5 希望ネーミングライツ料（年額）

- (1) 渋川市武道館＝60万円以上（税抜）
- (2) 渋川市子持社会体育館＝80万円以上（税抜）
- (3) 渋川市赤城総合運動自然公園＝60万円以上（税抜）

#### 6 表示変更に伴う費用負担

区 分	ネーミングライツ パートナー	市
(1) ネーミングライツ料	○	
(2) 敷地内外の看板等の表示変更	○	
(3) 契約期間終了後の原状回復	○	
(4) パンフレット、封筒等の印刷物や ホームページの表示変更		○

※区分（4）の内容については、応募施設ごとに異なります。

7 応募方法 申請書類を所管課へ郵送又は直接持参

8 募集期間 令和4年6月21日(火)～9月20日(火)

### 9 決定方法

愛称案、契約期間、社会貢献(地域貢献)の取り組み、ネーミングライツ料から総合的に審査します。

### 10 スケジュール(予定)

- ・令和4年10月:ネーミングライツパートナー優先交渉権者の選定・決定
- ・令和4年11月初旬:契約締結
- ・令和5年1月1日:ネーミングライツ導入(愛称使用開始)

### 11 周知方法

広報しぶかわ7月1日号に掲載するほか、募集要項及び応募申込書などの詳細を、市ホームページに掲載します。

また、印刷した募集要項及び応募申込書を、スポーツ課、市内の各行政センター及びネーミングライツの対象となっている各体育施設に設置します。

### 12 渋川市のネーミングライツの実績

- ・年 度 令和3年度
- ・施設名 渋川市総合公園陸上競技場(瑞穂建設スタジアム)
- ・パートナー 瑞穂建設株式会社
- ・期 間 令和3年10月1日～令和7年3月31日(3年6カ月)
- ・契約額 年額50万円(税別)

#### ■問い合わせ先

スポーツ健康部スポーツ課(電話0279-22-2241)

課長 狩野 真洋(内線4957)

スポーツ振興係 阿部 洋介(内線4958)



## 資料4

発表：危機管理監 真下 彰文（危機管理室） 電話0279-22-2130 内線2105

### 土砂災害危険箇所等の一斉点検を実施します

これから梅雨時季に入り、集中豪雨や台風に伴う豪雨等が多くなり、土砂災害が発生する恐れがあることから、過去に渋川市内で土砂災害が発生した箇所などを中心に、道路や水路等の一斉点検を実施します。

#### 1 経 過

これから梅雨時季に入り、集中豪雨や台風に伴う豪雨等が多くなり、急傾斜地の崩壊、土石流、地滑りを原因とする土砂災害が発生する恐れがあります。

渋川市では、令和元年6月28日に赤城地内で、JR上越線の脱線事故が発生しました。この事故に関する国の運輸安全委員会調査報告書において、事故の原因が渋川市の管理不備にあるとの指摘がありました。また、令和3年には静岡県熱海市で豪雨による大規模土石流が発生しました。

このことから、市内で過去に土砂災害が発生した箇所などを中心に、一斉点検を実施します。

2 実施期間 令和4年6月13日(月)～24日(金)

3 点検箇所 道路（農道、林道等）、水路（農業用水等）、ため池、大規模盛土、土砂災害警戒区域内の太陽光発電施設  
※土砂の流出、農業用水路の詰まりなどの状況を点検

4 点検体制 環境森林課、農政課、土木維持課、都市政策課

5 点検報告 7月4日(月)の庁議にて報告

#### 6 過去の点検状況

(1) 令和元年度の緊急点検結果（道路・農業用水路）

- ・道路40カ所：指摘箇所19カ所
- ・農業用水路25カ所：指摘箇所16カ所

(2) 令和3年度の点検結果（土砂災害警戒区域、伐採、造成地等）

- ・太陽光発電施設：18カ所
- ・土砂条例による盛土：2カ所
- ・伐採届・治山事業・林地開発：46カ所
- ・開発行為による造成地：9カ所
- ・開発行為(合併前)造成地：3カ所

##### ア 経過観察

- 伐採届：2カ所
- 治山事業：1カ所

##### イ 要対策

- 治山事業：1カ所

※現状、市で対応可能な部分是对应済み。

■問い合わせ先

危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 中山 久子（内線2180）

危機管理係長 藤井 隆（内線2187）



## 資料5

発表：産業観光部 部長 金井 裕昭（商工振興課） 電話0279-22-2596 内線4899

### しぶかわ創作こけし展 ～しぶかわ普通じゃないこけし展～を開催します

「創作こけし」の作品を見てもらう機会を設けることで、作家の創作意欲を高めるとともに、創作こけしの魅力を広く発信することで、創作こけし産業の活性化を図るため、6月16日(木)から24日(金)まで、「しぶかわ創作こけし展～しぶかわ普通じゃないこけし展～」を開催します。

#### 1 目 的

新型コロナウイルス感染症の影響により、全群馬近代こけしコンクールは令和3年、4年の2カ年連続での一般観覧が中止され、展示は入賞作品のみに限定されました。また、令和2年、3年は全日本こけしコンクール（宮城県白石市）が中止されるなど、こけし作家は、作品を展示する機会が減少しています。

こうした状況下で、作品を見てもらう機会を設けることで、作家の創作意欲を高めるとともに、渋川「創作こけし」の魅力を広く市民に発信することで、創作こけし産業の活性化を図るため、創作こけし展を開催します。

#### 2 内 容

「こけし」といえば、丸い頭に円筒形の胴体である「伝統こけし」を想像される方が多いと思いますが、渋川市の「創作こけし」はこれといった決まりがなく、常に新しいデザインが誕生しています。「伝統こけし」とは異なる、作家の自由な発想で生まれる「普通じゃないこけし」（「創作こけし」）の作品展を渋川市で開催します。

また、今回の作品展では、作家の理解をより深めてもらうために、各作家同士の関係図（親族や師弟関係等）を掲示しながら作品を展示します。各作家同士の人間関係がどのように作品に反映されているのかを楽しみながら鑑賞いただけます。

- 3 日 時 令和4年6月16日(木)～24日(金) 午前9時～午後5時  
※土・日曜日にも開催します  
※16日(木)は午後1時から。同時刻に開催セレモニーを行います。  
※24日(金)は午後2時30分まで

- 4 場 所 渋川市役所第二庁舎2階 あじさいホール

- 5 展 示 品 渋川こけし人形会、地域おこし協力隊等の作品  
※出品作家数27名、展示作品数約100点（調整中）

- 6 主 催 渋川こけし人形会、地域おこし協力隊、渋川市（商工振興課）

#### 7 そ の 他

- (1) 来場されたお子様には、木のおもちゃのガチャガチャをプレゼント予定です  
※数に限りがありますので、なくなり次第終了します
- (2) 新型コロナウイルスの影響により、中止や内容を変更する場合があります  
また、感染予防対策として、手指の消毒やマスクの着用などを周知します

## 参考

### ○全群馬近代こけしコンクールとは

群馬県の誇る近代こけしを一堂に集め、その魅力を広く紹介し、近代こけし産業の振興発展に寄与することを目的として昭和34年から開催されている。

### ○全日本こけしコンクールとは

宮城県白石市で開催される、職人が最高峰の技を競う日本最大級のこけしの祭典。会場には伝統こけしや創作こけしなど、ここでしか見ることができないこけしが全国から勢揃いしており、工人による実演も行われる。

### ○渋川こけし人形会とは

渋川市、吉岡町、榛東村のこけし作家及び木地師で構成する団体。会員数22名(令和2年11月現在)。「全国創作こけし美術展 in 渋川」や各種行事等への参加協力、会員間の情報交換及びこけし業界の発展に寄与することを目的に平成18年7月に設立された。

渋川市とは、令和元年7月1日に、地場産業の活性化と地域ブランドの向上を目的として、創作こけし産業の継続と発展に資することに関する協力協定を締結し、渋川駅前プラザ2階の渋川創作こけしギャラリーの運営のほか、後継者育成や創作こけしに係る情報発信を行っている。

### ○地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。

### ○渋川創作こけしギャラリーとは

令和元年9月29日に渋川駅前プラザの2階にオープンし、渋川こけし人形会員及び地域おこし協力隊員の作品を中心に年中無休で展示をしている。開館時間は午前9時から午後7時まで。入場料は無料。渋川市と渋川こけし人形会との連携協力のもと、渋川こけし人形会が定期的に作品の入替えを行い、ギャラリーの運営を行っている。

また、渋川創作こけしギャラリーでは、渋川創作こけしの担い手として修業をしている地域おこし協力隊の大野雄哉隊員が、こけしの製作活動をしている。

#### ■問い合わせ先

産業観光部商工振興課 (電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊 (内線4890)

まちなか再生・産業振興室長 山賀 真奈美 (内線4895)



入場無料

しぶかわ創作こけし展

開催時間

9:00~  
17:00

(16日は13時から、24日  
は14時30分まで)

# しぶかわ 普通じゃない こけし展

6 / 16

Thu

6 / 24

Fri



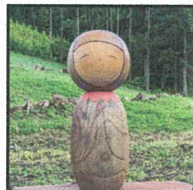
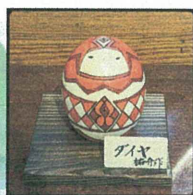
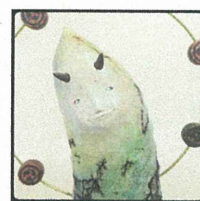
お子様には木のおもちゃの  
ガチャガチャをプレゼント!  
(数に限りがありますので無くなり  
次第終了いたします。)

## 開催場所

渋川市役所第二庁舎 2階

「あじさいホール」

出品者：渋川市地域おこし協力隊、渋川こけし人形会員等



主催：渋川市地域おこし協力隊、渋川こけし人形会、渋川市（商工振興課）

お問合せ先：渋川市商工振興課 0279-22-2596

マスクの着用や手指消毒などの感染症対策にご協力ください。発熱や咳などの症状がある方、体調不良の方は、ご来場をご遠慮ください。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、縮小又は中止となる可能性があります。









## 資料6

発表：教育部 部長 島田 志野（生涯学習課） 電話0279-22-2500 内線4930

# ふるさと再発見 渋川の偉人展第10回目として 「渋川郷学 高橋蘭齋顕彰展」を開催します

ふるさと再発見 渋川の偉人展第10回目として、江戸時代末期の渋川村出身の医者で、教育者でもあった高橋蘭齋の偉業を讃える「渋川郷学 高橋蘭齋顕彰展～吉田芝溪に続く人々2～」を、6月9日(木)から開催します。  
初日の6月9日(木)には、関係者による開催セレモニーを行います。

### 1 目 的

渋川市にゆかりのある先人の功績に改めて光をあて讃えるとともに、多くの方々にその功績をより深く知っていただき、郷土の誇りとして後世に末永く継承していくために顕彰展を開催するものです。

平成30年度から開催し、これまでに9名の人物を取り上げています。

### 2 内 容

江戸時代末期の渋川村裏宿出身で、医者・教育者として地域の発展に貢献し、渋川郷学の吉田芝溪から木暮足翁と続いた学統を堀口藍園へと伝えた、高橋蘭齋の業績の紹介と、直筆の書や短冊などの関連資料を展示します。

### 3 会場と開催時期

#### (1) 市役所本庁舎市民ホール

令和4年6月9日(木)～16日(木) 午前8時30分～午後5時15分

※6月9日(木)は午後0時30分から

※市役所閉庁日は除く

#### (2) 市役所第二庁舎あじさいサロン

令和4年6月20日(月)～24日(金) 午前8時30分～午後5時15分

### 4 展 示 品

解説用のパネルのほか高橋蘭齋直筆の書などを展示予定

※作成した解説用のパネルは、顕彰展終了後に市内の各小中学校で行う巡回展示での使用を予定しています。

### 5 開催協力

顕彰展の開催に当たり、高橋蘭齋の末裔の方や、蘭齋のお墓がある遍照寺から協力を得ています。

### 6 そ の 他

令和4年6月9日(木)の午後0時10分から、市長ほか、関係者を含めた開催セレモニーを市民ホールで実施します。

## 参考

### 高橋蘭斎略歴

- 1799年(寛政11) 農業のかたわら馬宿を営む高橋茂右衛門の二男として渋川村裏宿に生まれる
- 1806年(文化3) 木暮足翁に弟子入りし、読み書きから和歌を学ぶ
- 1821年(文政4) 渋川に訪れた近江国(現・滋賀県)出身の大寂庵立綱から和歌を学ぶ  
文政年間中に祖父と父をあいついで亡くしたため、茂右衛門を襲名し、若くして名主となる
- 1829年(文政12) 堀口藍園(12歳)が蘭斎のもとに弟子入りし読み書きの初歩から儒学までを習う。藍園は人一倍の勉強家で蘭斎門下の俊才といわれた  
天保の初年頃、十数年務めた名主を辞め、医師になることを志し、江戸へ行き宇田川榕菴に弟子入りし医学を学ぶ  
3年間医学を学んだ後、渋川に帰り医者として開業する
- 1843年(天保14) 医業開業願を岩鼻代官所に提出する
- 1882年(明治15) 高橋蘭斎亡くなり遍照寺墓地に葬られる
- 1885年(明治18) 渋川八幡宮西の伊香保道三叉路に堀口藍園ほか門弟等の発起により「蘭斎高橋翁碑」が建てられる
- 1961年(昭和36) 「蘭斎高橋翁碑」が渋川市渋川(入沢)の花缺地蔵の境内に移転される
- 1982年(昭和57) 遍照寺墓地にある高橋蘭斎の墓が渋川市の指定史跡となる



### ◀写真

渋川市指定史跡 高橋蘭斎の墓  
遍照寺(渋川市渋川)

### ■問い合わせ先

教育部生涯学習課(電話0279-22-2500)  
課長 照井 智子(内線4950)  
生涯学習係長 橋爪 純(内線4954)